令和8年度第3回消費生活意識調査

（調査結果）

調査概要

1. 調査方法

インターネットを利用したアンケート調査

2. サンプル数

5,000 サンプル（人口構成比に応じた割り付け）

性年代

7段階の男女（15～19 歳、20～29 歳、30～39 歳、40～49 歳、50～59 歳、60～69 歳、70 歳以上）

地域 地域区分は、次の単位とする。

北海道・東北：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県
甲信越：新潟県、山梨県、長野県
北陸：富山県、石川県、福井県
東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

3. 調査実施期間

令和8年 10 月1日（木）～10 月5日（月）

（備考）

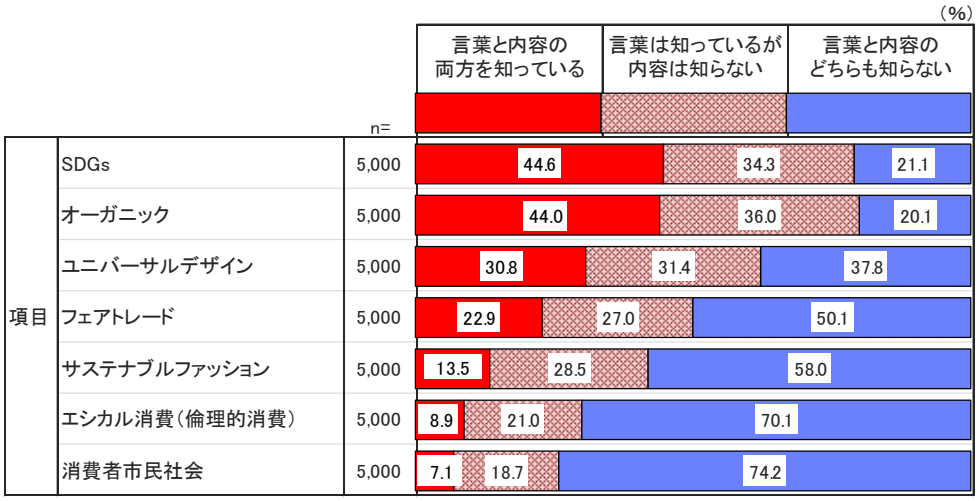
・合計数値は、四捨五入の関係で、図表中の数値の合計と一致しない場合がある。

・本調査におけるSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）とは、Facebook やX（旧 Twitter）、Instagram、LINE、YouTube、TikTok 等の利用者同士が交流できるサービスを指す。

問1．あなたは、以下の言葉について、どの程度知っていますか。それぞれについて、当てはまるものを一つずつお選びください。

（単一回答）

「言葉と内容の両方を知っている」と回答した人の割合は、「SDGs（44.6%）」「オーガニック（44.0%）」がともに特に高く、次いで「ユニバーサルデザイン（30.8%）」となっている。

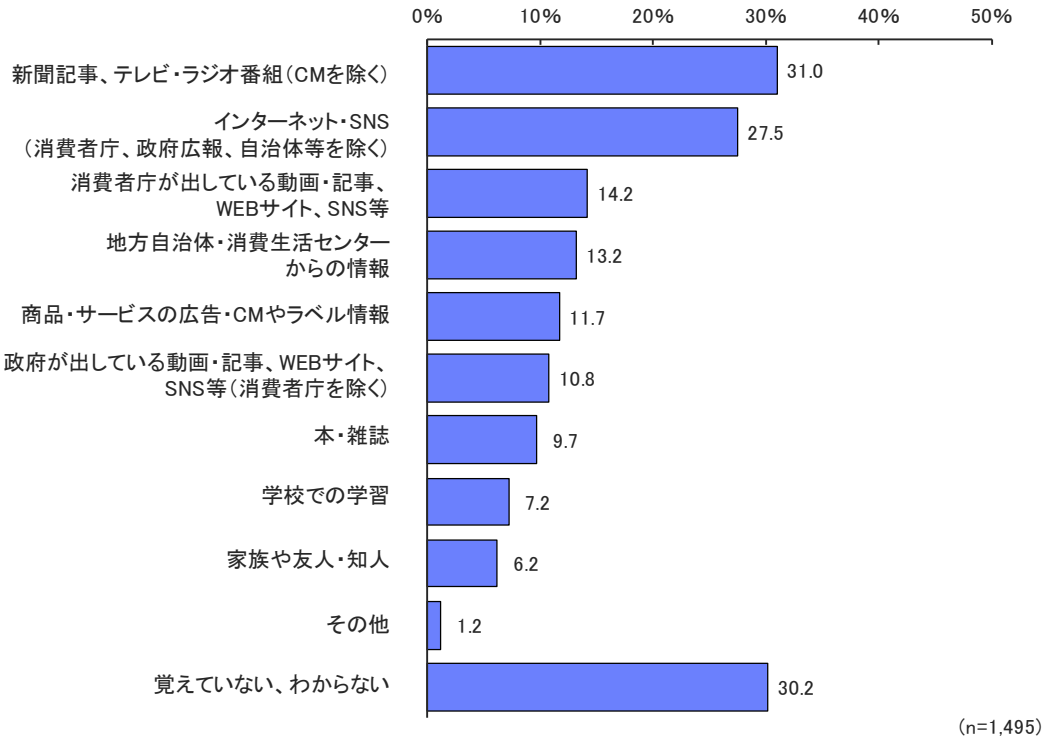


【各用語の解説】

SDGs	貧困、紛争、テロ、気候変動などの様々な社会課題の解決に向けて、2015年９月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のこと
オーガニック	「有機」と同じ意味であり、農薬や化学肥料を使わないことを基本として育てられた野菜、果物などに使われる言葉のこと
ユニバーサルデザイン	「全ての人のためのデザイン」を指し、年齢や障害の有無、性別、国籍などに関わらず、多くの人に分かりやすく使いやすいようデザインされたもののこと
フェアトレード	環境に優しく、生産者の暮らしの改善や自立を実現するために、生産者と購入者の間で商品が適正な価格で売買されること
サステナブルファッション	衣服の生産から着用、廃棄に至るまで将来にわたり持続可能であることを目指し、地球環境に関わる人・社会に配慮した取組のこと
エシカル消費	地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと
消費者市民社会	消費者が、個々の消費者の特性及び消費生活の多様性を相互に尊重しつつ、自らの消費生活に関する行動が現在及び将来の世代にわたって内外の社会経済情勢及び地球環境に影響を及ぼし得るものであることを自覚して、公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参画する社会のこと

問2. あなたは、エシカル消費の言葉や内容についてどこから情報を得ている、又は得たことがありますか。以下の項目のうち、当てはまるものを全てお選びください。
（複数回答）

エシカル消費を知った情報経路として、「新聞記事、テレビ・ラジオ番組（CM を除く）（31.0%）」と回答した人の割合が最も高く、次いで「インターネット・SNS（消費者庁、政府広報、自治体等を除く）（27.5%）」となっている。



（備考）問1でエシカル消費について「言葉と内容の両方を知っている」又は「言葉は知っているが内容は知らない」と回答した人（計 1,495 名）に質問。

問3．エシカル消費とは、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動です。

日常的に消費する衣類や食品等の生産背景には、児童労働や人権問題、劣悪な労働環境、環境破壊等の問題が潜んでいる場合があります。

私たち一人一人が、社会的な課題に気付き、その解決のためにできることを考え、買い物や行動をすることがエシカル消費です。

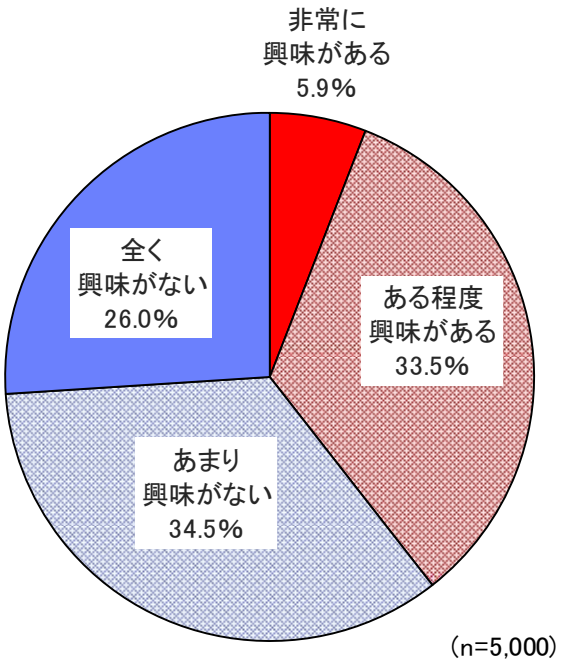
例えば次のような行動が含まれます。

・社会的課題に配慮した商品・サービスを購入・利用する
・地域社会の活力向上のため地元商店街で買い物をしたり、その地域で生産された農産物等を購入したりする
・一度使用したものをシェアやリサイクルをして資源を大切に使う

あなたは、エシカル消費について、どの程度興味がありますか。以下の項目のうち、当てはまるものを一つお選びください。

（単一回答）

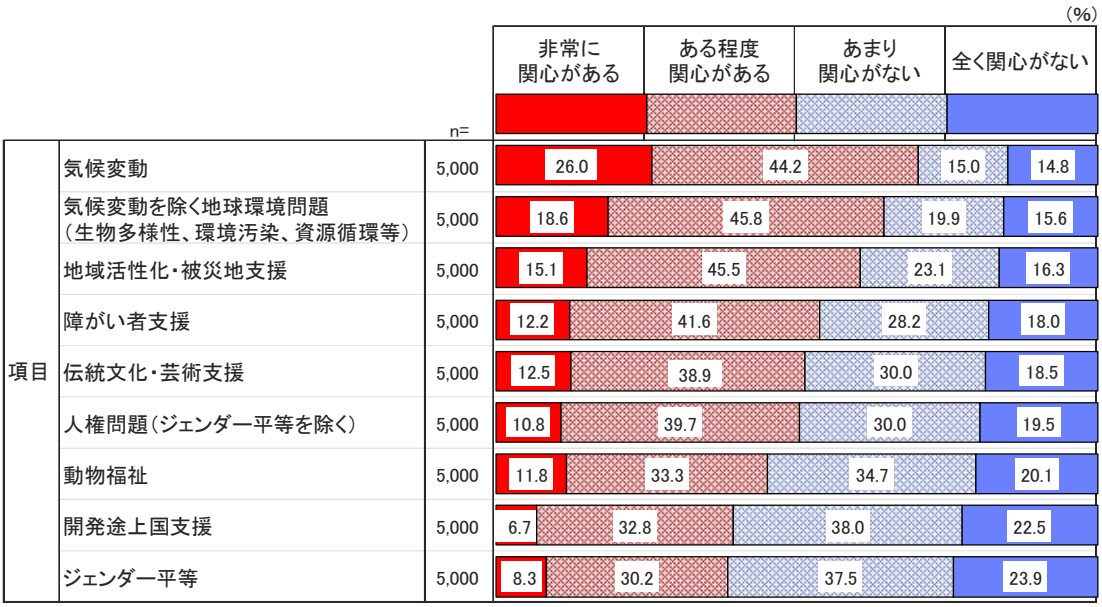
エシカル消費について上記のように説明をした後、興味の度合いについて聞いたところ、「興味がある」（「非常に興味がある」又は「ある程度興味がある」の計。）と回答した人の割合は 39.4%となっている。



問4．あなたは、エシカル消費につながる以下の社会的課題・社会貢献活動について、どの程度関心を持っていますか。それぞれについて、当てはまるものを一つずつお選びください。

（単一回答）

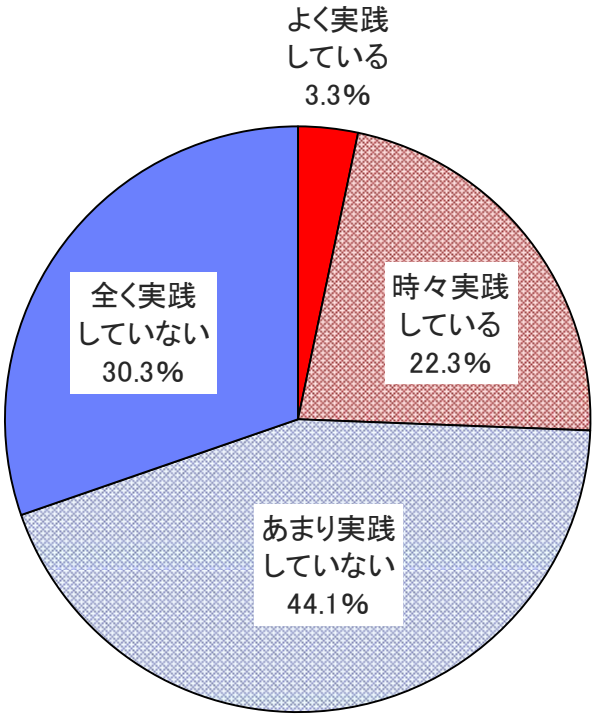
社会的課題・社会貢献活動について、課題・活動別にみたときに、「関心がある」（「非常に関心がある」又は「ある程度関心がある」の計。）と回答した人の割合が最も高いのは「気候変動（70.2%）」であり、次いで「気候変動を除く地球環境問題（生物多様性、環境汚染、資源循環等）（64.5%）」、「地域活性化・被災地支援（60.6%）」となっている。



問5．あなたは、エシカル消費についてどの程度実践していますか。以下の項目のうち、当てはまるものを一つお選びください。

（単一回答）

エシカル消費の実践の程度について、「よく実践している（3.3%）」又は「時々実践している（22.3%）」と回答した人の割合は 25.6%となっている。

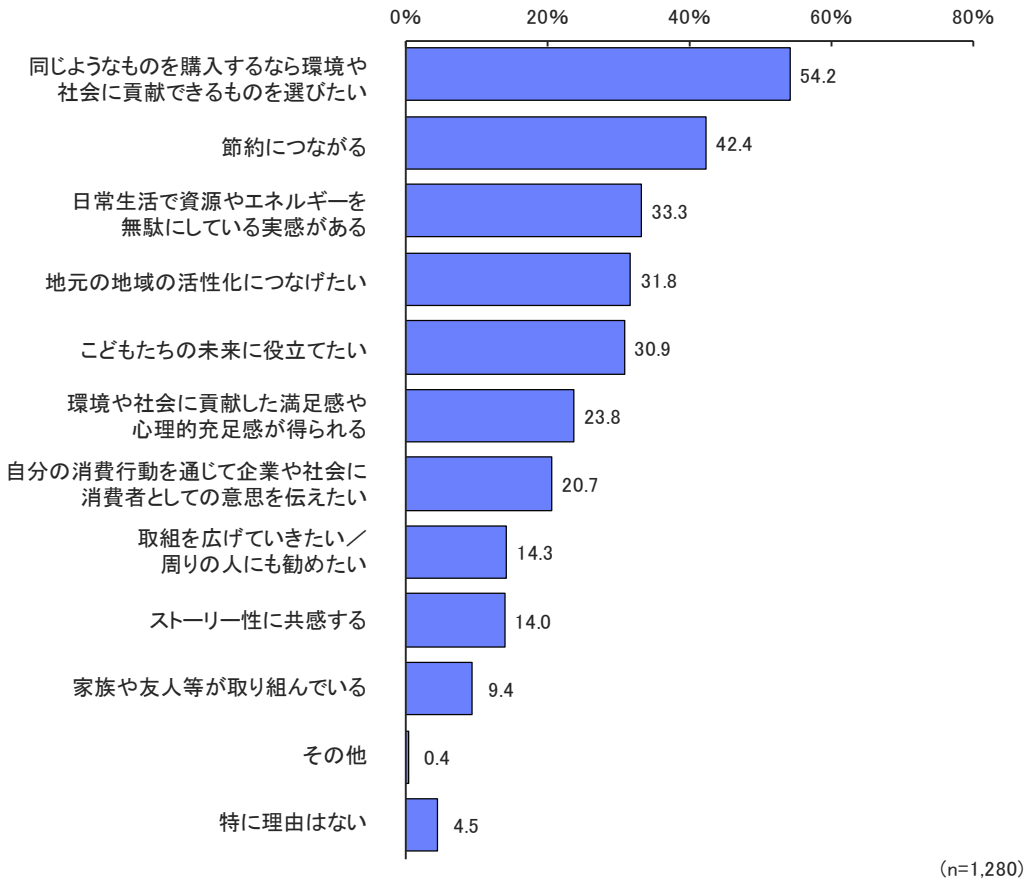


（n=5,000）

問6．あなたが、エシカル消費に取り組んでいる理由は何ですか。以下の項目のうち、当てはまるものを全てお選びください。

（複数回答）

エシカル消費に取り組む理由として、「同じようなものを購入するなら環境や社会に貢献できるものを選びたい（54.2%）」と回答した人の割合が最も高く、次いで「節約につながる（42.4%）」、「日常生活で資源やエネルギーを無駄にしている実感がある（33.3%）」となっている。

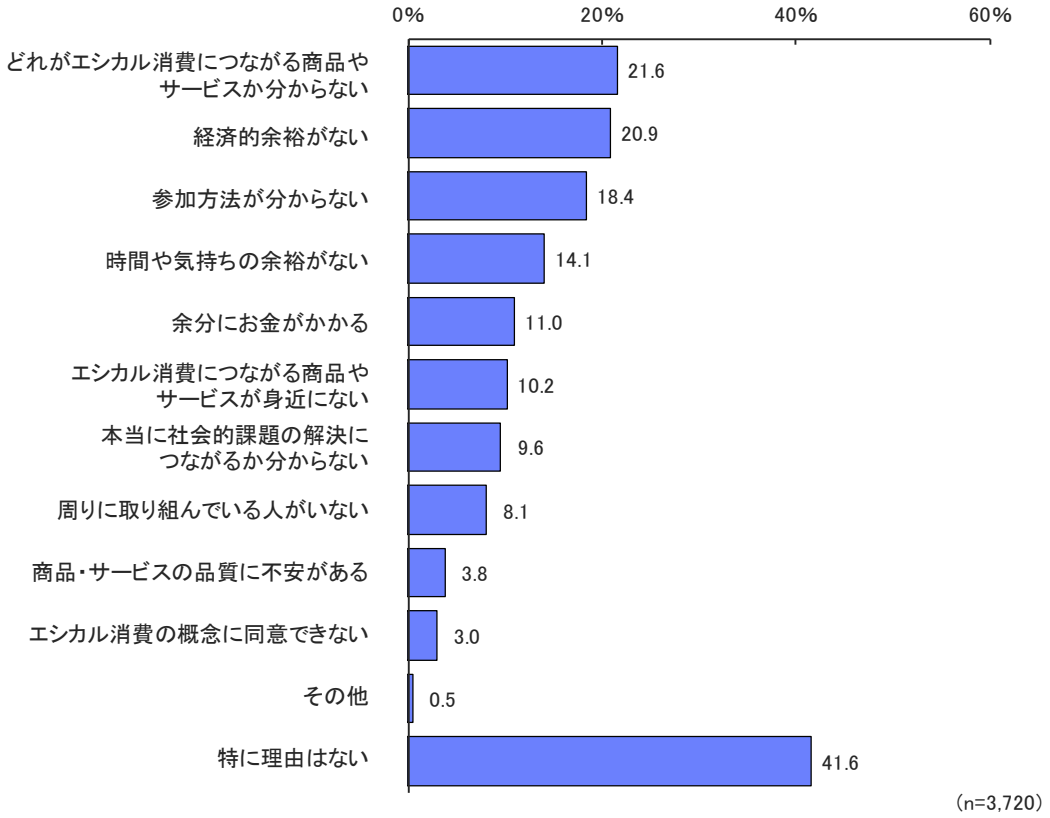


（備考）問5で「よく実践している」又は「時々実践している」と回答した人（計 1,280 名）に質問。

問7．あなたが、エシカル消費に取り組んでいない理由は何ですか。以下の項目のうち、当てはまるものを全てお選びください。

（複数回答）

エシカル消費に取り組んでいない理由として、「どれがエシカル消費につながる商品やサービスか分からない（21.6%）」と回答した人の割合が最も高く、次いで「経済的余裕がない（20.9%）」、「参加方法が分からない（18.4%）」となっている。

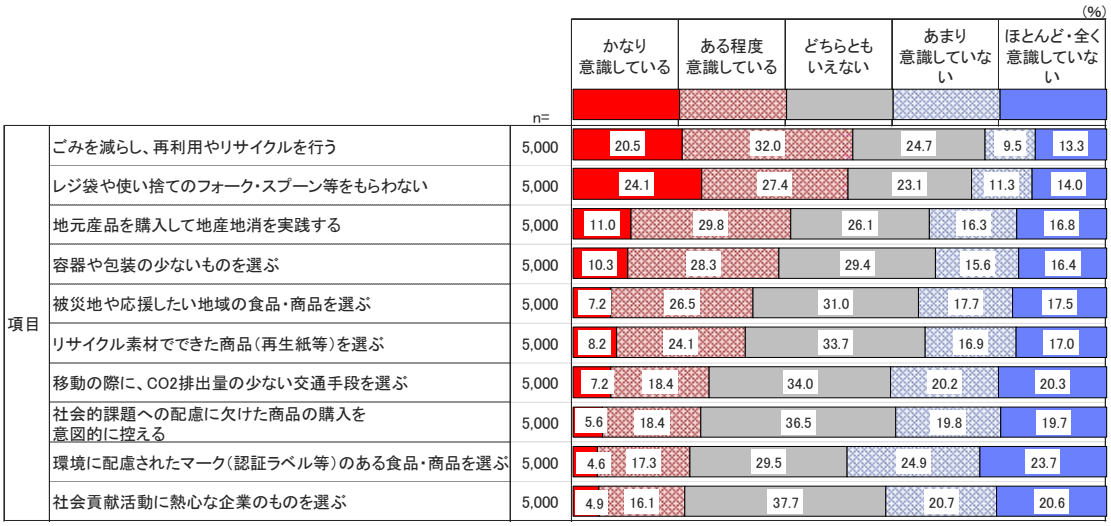


（備考）問5で「あまり実践していない」又は「全く実践していない」と回答した人（計 3,720 名）に質問。

問8. あなたは日頃の消費行動において、エシカル消費につながる以下のことをどの程度意識して実施していますか。それぞれについて、当てはまるものを一つずつお選びください。

（単一回答）

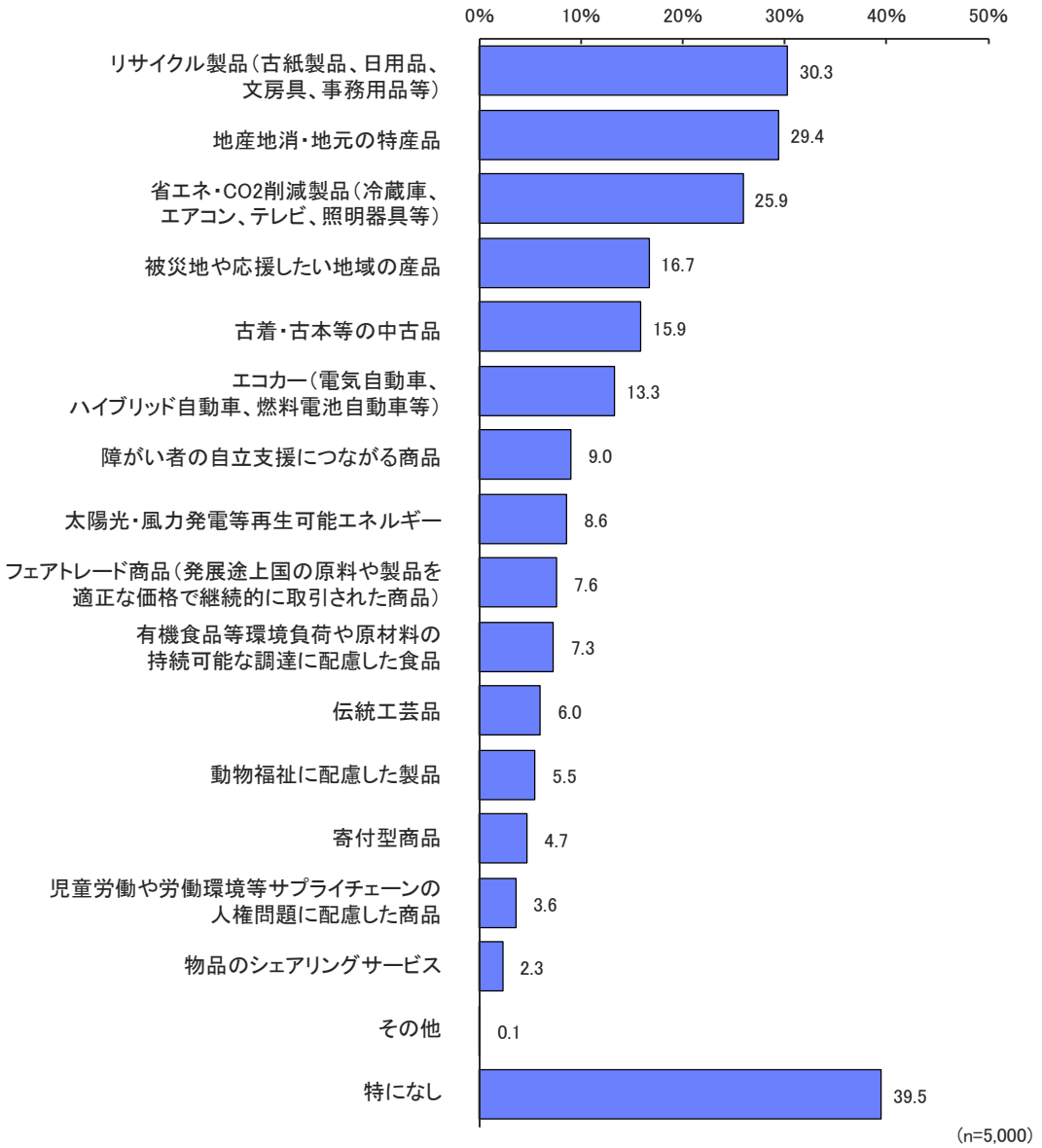
日頃の消費行動において、意識している（「かなり意識している」又は「ある程度意識している」の計。）と回答した人の割合が最も高いのは、「ごみを減らし、再利用やリサイクルを行う（52.5%）」となっており、次いで「レジ袋や使い捨てのフォーク・スプーン等をもらわない（51.5%）」となっている。



問9．あなたは、エシカル消費につながる以下の商品・サービスのうち、具体的にどれを購入・利用していますか。以下の項目のうち、当てはまるものを全てお選びください。

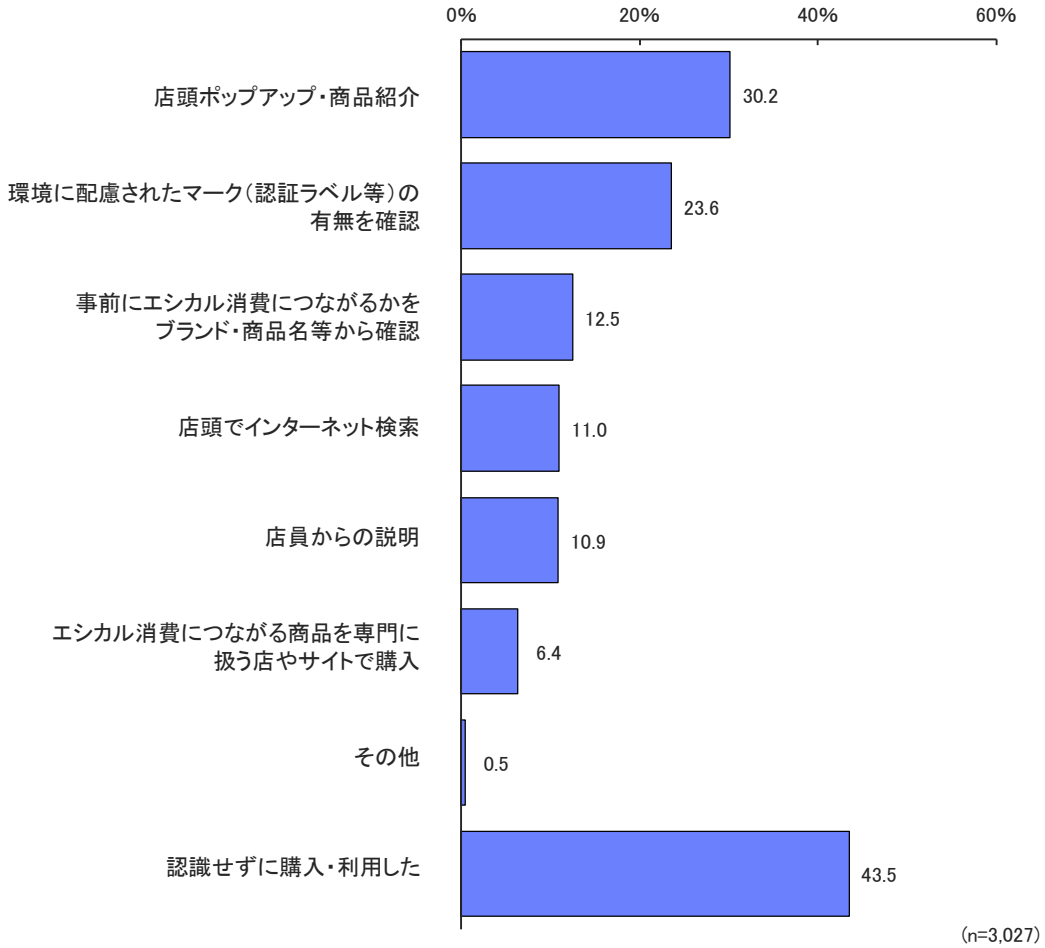
（複数回答）

購入・利用をしているエシカル消費につながる商品・サービスについて、「リサイクル製品（古紙製品、日用品、文房具、事務用品等）（30.3%）」と回答した人の割合が最も高く、次いで「地産地消・地元の特産品（29.4%）」、「省エネ・CO2削減製品（冷蔵庫、エアコン、テレビ、照明器具等）（25.9%）」となっている。



問 10. あなたは、エシカル消費につながる商品・サービスであることをどのように確認して選択していますか。以下の項目のうち、当てはまるものを全てお選びください。
（複数回答）

エシカル消費につながる商品・サービスの確認方法として、「店頭ポップアップ・商品紹介（30.2%）」と回答した人の割合が最も高く、次いで「環境に配慮されたマーク（認証ラベル等）の有無を確認（23.6%）」、「事前にエシカル消費につながるかをブランド・商品名等から確認（12.5%）」となっている。

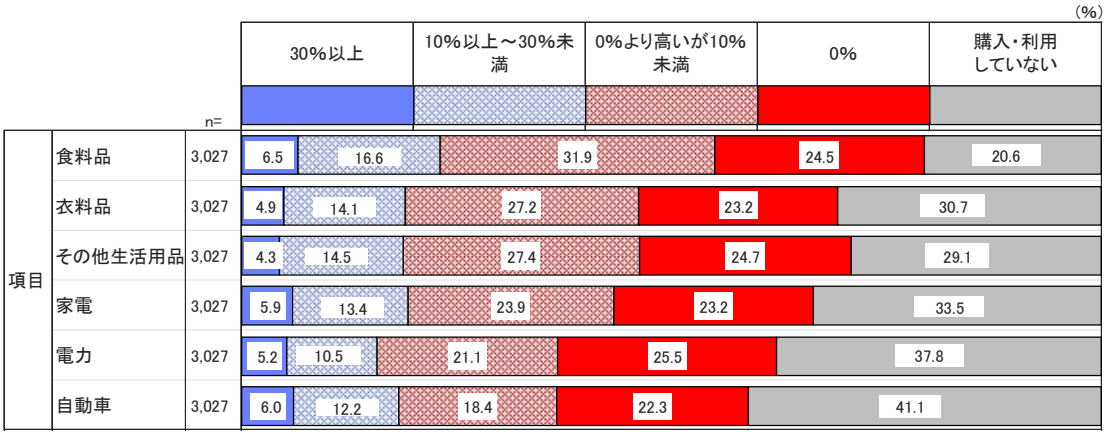


（備考）問9で「特になし」を除くいずれかの選択肢を回答した人（計 3,027 名）に質問。

問 11. エシカル消費につながる商品・サービスを、通常の商品・サービスよりどの程度まで割高なものについて購入・利用した経験がありますか。

（単一回答）

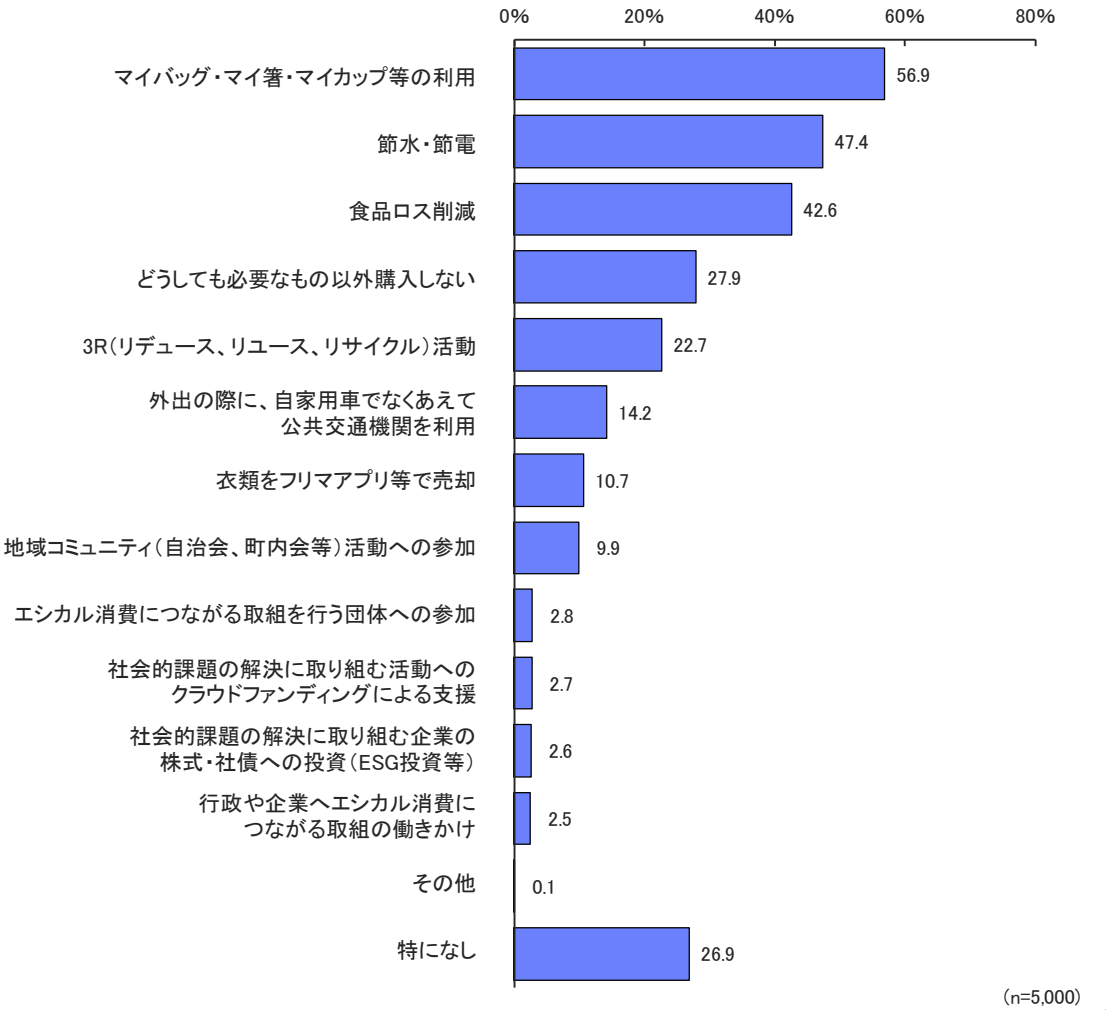
エシカル消費につながる商品・サービスに関して、どの程度まで割高なものを購入した経験があるかについて、商品別にみたときに、割高で購入した（「0%より高いが10%未満」、「10%以上～30%未満」又は「30%以上」の計。）と回答した人の割合が最も高い商品は、「食料品（55.0%）」となっており、次いで「衣料品（46.2%）」、「その他生活用品（46.2%）」となっている。



（備考）問9で「特になし」を除くいずれかの選択肢を回答した人（計 3,027 名）に質問。

問 12. あなたは、エシカル消費につながる行動について、具体的にどのようなことを実践していますか。以下の項目のうち、当てはまるものを全てお選びください。
（複数回答）

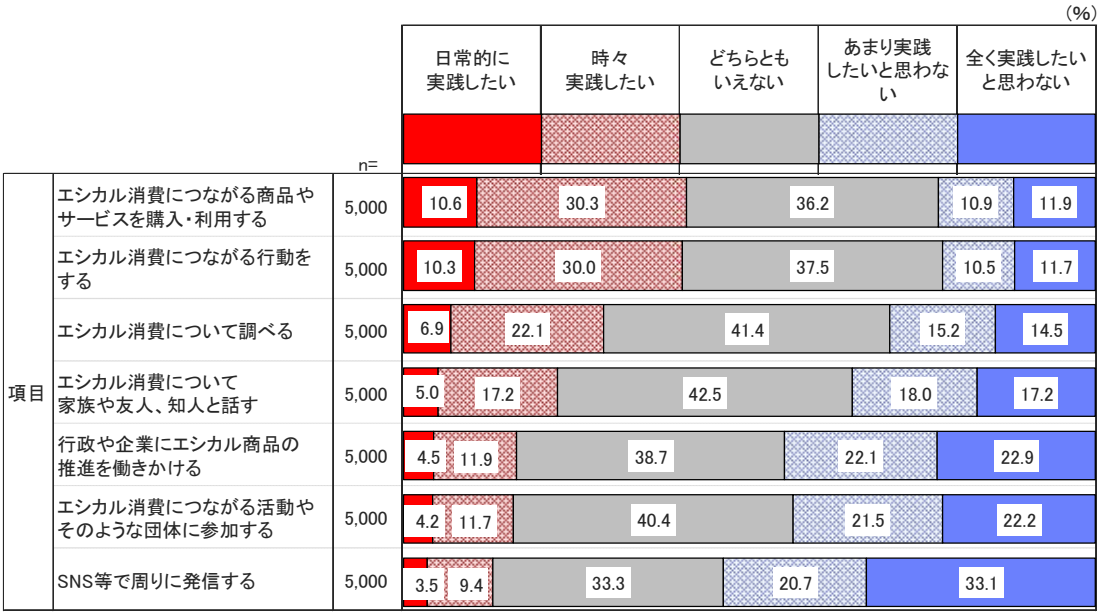
実践しているエシカル消費につながる行動として、「マイバッグ・マイ箸・マイカップ等の利用（56.9%）」と回答した人の割合が最も高く、次いで「節水・節電（47.4%）」、「食品ロス削減（42.6%）」となっている。



問 13. 今後、あなたは、以下の行動について、どの程度実践したいと思いますか。それぞれについて、当てはまるものを一つずつお選びください。なお、現在行っている行動で、今後も継続して行いたい行動も含めてお答えください。

（単一回答）

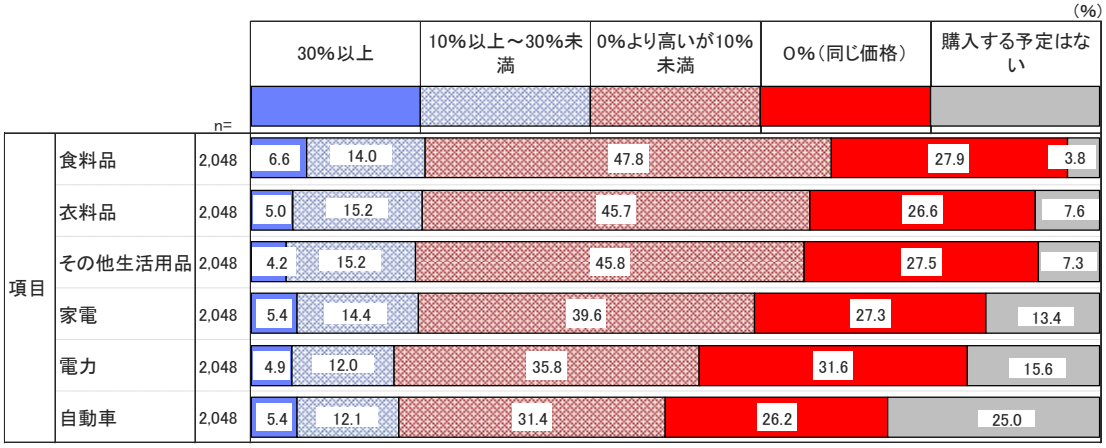
今後実践したい行動として、「実践したい」（「日常的に実践したい」又は「時々実践したい」の計。）と回答した人の割合が最も高いのは、「エシカル消費につながる商品やサービスを購入・利用する（41.0%）」となっており、次いで「エシカル消費につながる行動をする（40.3%）」、「エシカル消費について調べる（29.0%）」となっている。



問 14. あなたは、エシカル消費につながる商品・サービスを、通常の商品・サービスよりどの程度なら割高であっても購入・利用したいと思いますか。

（単一回答）

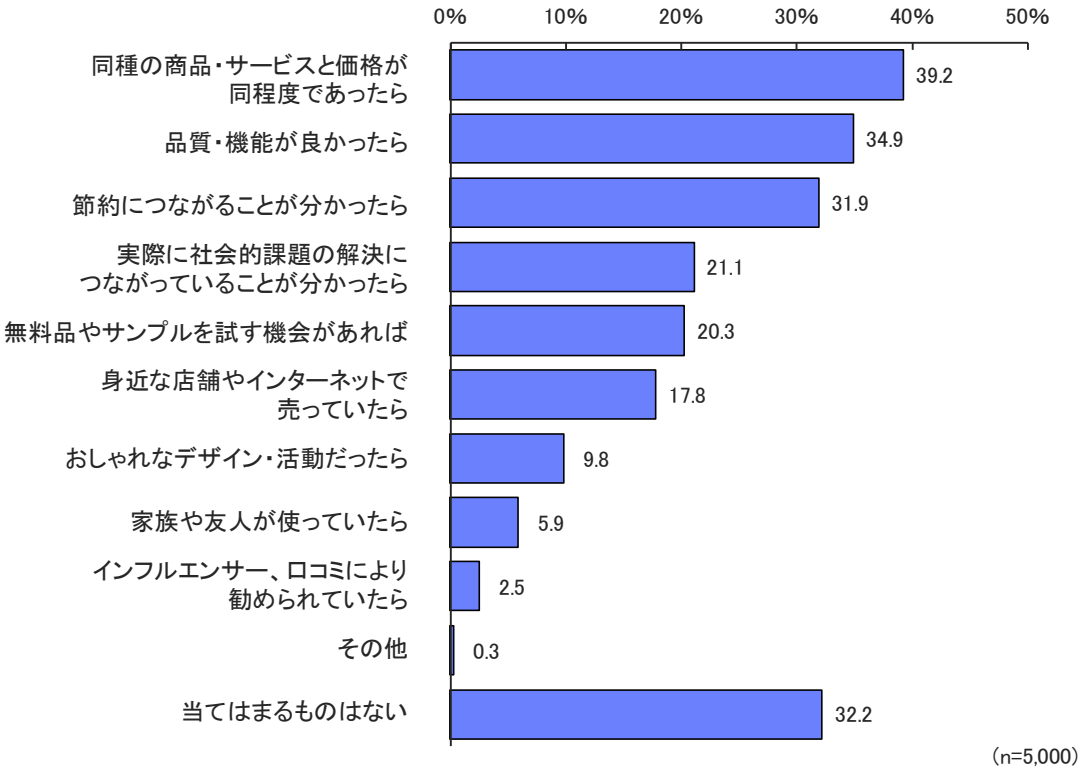
エシカル消費につながる商品・サービスがどの程度なら割高であっても購入したいかについて、商品別にみたときに、割高でも購入したい（「0%より高いが 10%未満」、「10%以上～30%未満」又は「30%以上」の計。）と回答した人の割合が最も高い商品は、「食料品（68.4%）」となっており、次いで「衣料品（65.9%）」、「その他生活用品（65.2%）」となっている。



（備考）問 13 の「エシカル消費につながる商品やサービスを購入・利用する」で「日常的に実践したい」又は「時々実践したい」と回答した人（計 2,048 名）に質問。

問 15. あなたは、どのような条件であれば、エシカル消費を実践したい又はもっと実践したいと思いますか。以下の項目のうち、当てはまるものを全てお選びください。
（複数回答）

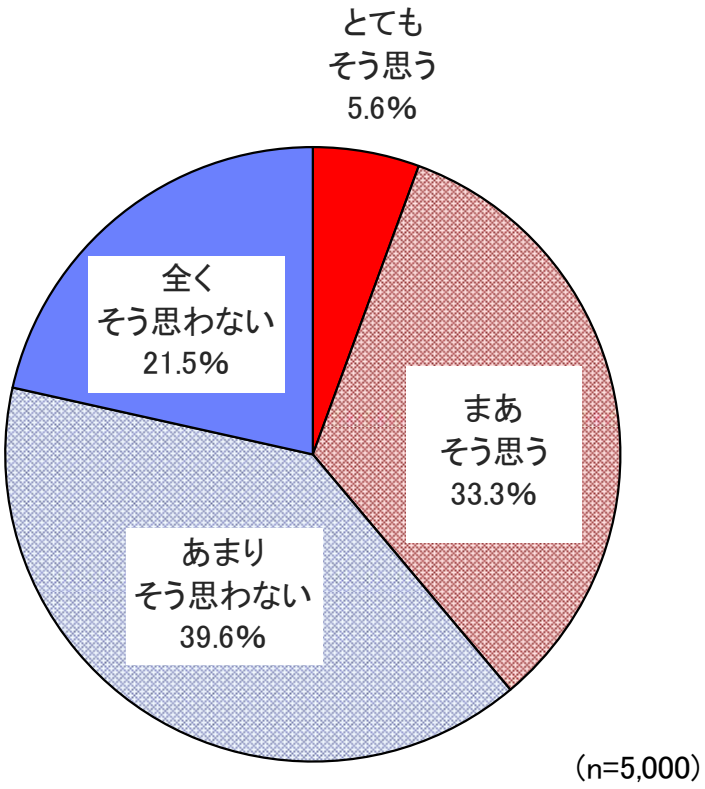
エシカル消費を実践したい又はもっと実践したいと思う条件として、「同種の商品・サービスと価格が同程度であったら（39.2%）」と回答した人の割合が最も高く、次いで「品質・機能が良かったら（34.9%）」、「節約につながることが分かったら（31.9%）」となっている。



問 16. あなたは、直近3年間で、人・社会・地域・環境に配慮した商品・サービスに関する情報に接する機会が増えたと思いますか。当てはまるものを一つお選びください。

（単一回答）

直近3年間で、人・社会・地域・環境に配慮した商品・サービスに関する情報に接する機会が増えたと思う（「とてもそう思う」又は「まあそう思う」の計。）と回答した人の割合は 38.9%となっている。

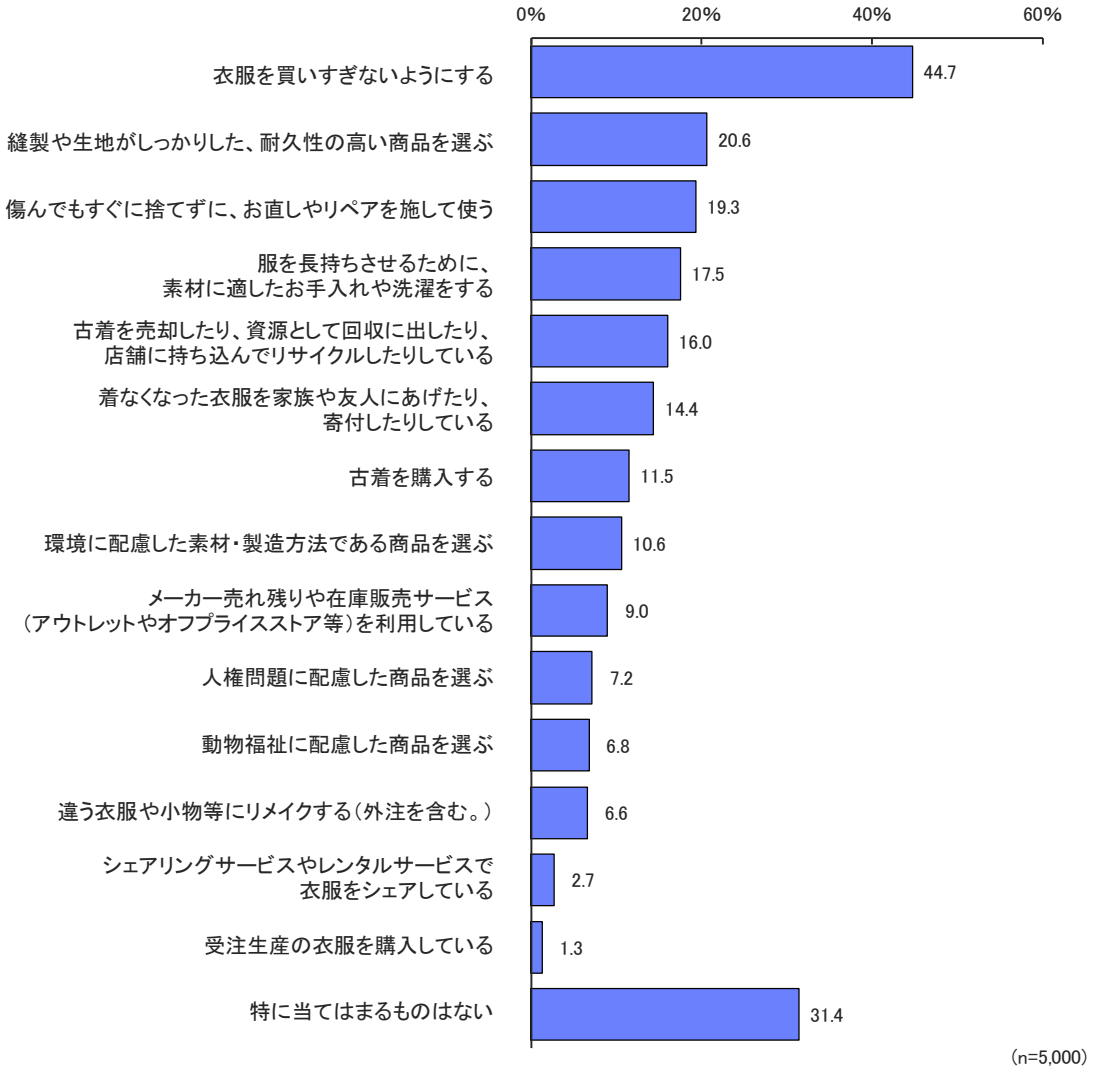


（n=5,000）

問 17. あなたは、ファッションに関して、以下の取組のうち、具体的にどれを行っていますか。以下の項目のうち、当てはまるものを全てお選びください。

（複数回答）

ファッションに関して行っている取組として、「衣服を買いすぎないようにする（44.7%）」と回答した人の割合が最も高く、次いで「縫製や生地がしっかりした、耐久性の高い商品を選ぶ（20.6%）」、「傷んでもすぐに捨てずに、お直しやリペアを施して使う（19.3%）」となっている。

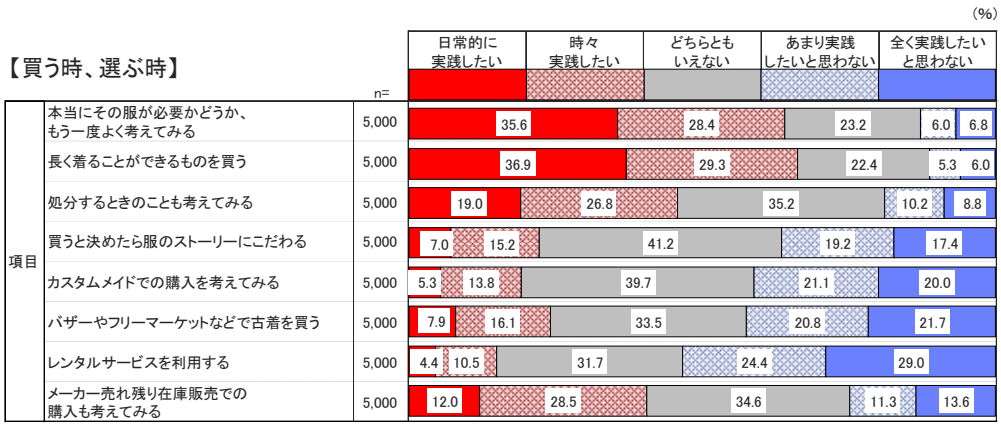


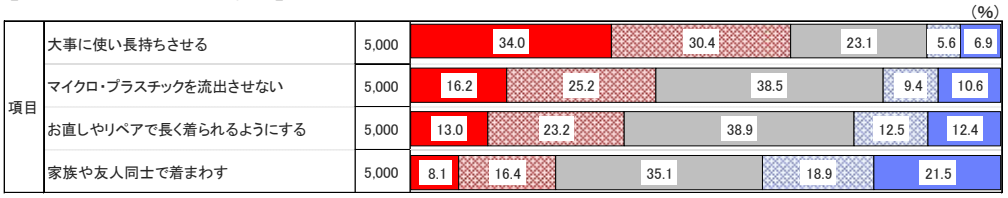
問 18. サステナブルファッションとは、衣服の生産から着用、廃棄に至るまで将来にわたり持続可能であることを目指し、地球環境に関わる人・社会に配慮した取組のことです。消費者庁では「サステナブルファッション」の推進に向け、18 の行動のヒントを公表しています。

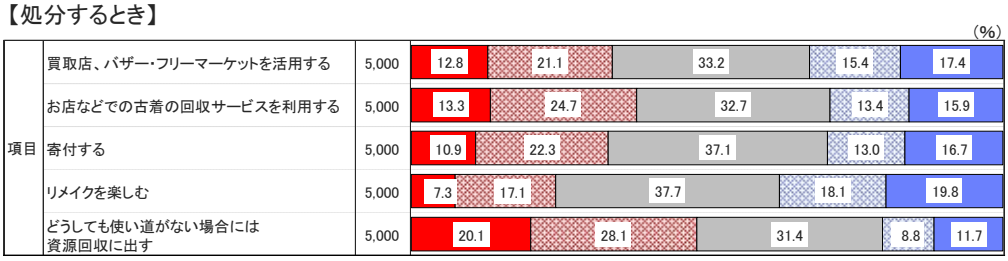
今後、あなたは、以下の 18 の行動について、どの程度実践したいと思いますか。それぞれについて、当てはまるものを一つお選びください。なお、現在行っている行動で、今後も継続して行いたい行動も含めてお答えください。

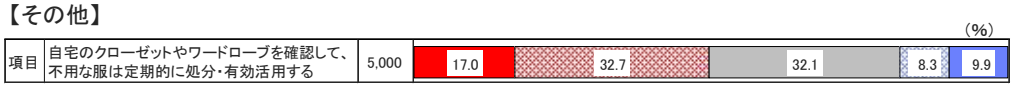
（単一回答）

サステナブルファッションの実践につながる 18 の行動について、実践したい（「日常的に実践したい」又は「時々実践したい」の計。）と回答した人の割合が最も高いのは、「長く着ることができるものを買う（66.3%）」となっており、次いで「大事に使い長持ちさせる（64.4%）」となっている。









※調査票順